



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社 キング  
 コード番号 8118 URL <https://www.king-group.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木原 伸一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 坪田 隆宏 TEL 03-5434-7282  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月9日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	7,835	△4.0	790	△8.6	949	△0.6	625	△14.8
2025年3月期	8,157	△4.6	864	△12.9	955	△9.9	733	37.5

(注) 包括利益 2026年3月期 978百万円 (17.0%) 2025年3月期 836百万円 (△34.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	39.17	—	2.7	3.6	10.1
2025年3月期	45.88	—	3.3	3.7	10.6

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	26,746	23,122	86.5	1,450.37
2025年3月期	25,717	22,475	87.4	1,405.08

(参考) 自己資本 2026年3月期 23,122百万円 2025年3月期 22,475百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,515	△2,049	△356	9,827
2025年3月期	880	△575	△387	10,718

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 18.00	百万円 287	% 39.2	% 1.3
2026年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	286	46.0	1.3
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00		41.0	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	2.1	900	13.8	1,050	10.6	700	12.0	43.90

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	24,771,561株	2025年3月期	24,771,561株
2026年3月期	8,828,777株	2025年3月期	8,775,917株
2026年3月期	15,956,944株	2025年3月期	15,984,811株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結損益及び包括利益計算書に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年4月1日～2026年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として、景気は緩やかな成長の動きが見られましたが、一方で、資源価格や原材料価格の高止まりに伴う物価上昇が継続し、実質的な購買力の伸び悩みから個人消費には力強さを欠く状況が続きました。加えて、海外経済の減速懸念などもあり、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、生活防衛意識の高まりによって慎重な購買姿勢が継続する中、気温変動の大きい天候要因の影響を受け、季節商材の販売は総じて不安定に推移するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと、当社グループでは、「強いものづくり」を基軸に、独自性のある高付加価値商品の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力すると共に、「売上高の拡大」を最重要課題として取り組んでまいりました。

具体的には、既存ショップの売上拡大施策やパートナーショップの新規開発を継続すると共に、新たなレディースブランドである「pierre cardin(ピエール・カルダン)」の展開開始等の営業活動を推進してまいりました。

また、在庫コントロールの徹底やプロパー販売強化により収益性の改善に努めると共に、SNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化によって店頭運営力の向上を図り、固定費を中心とした諸経費の削減や生産管理機能の強化にも努めてまいりました。

その結果、売上高は78億35百万円(前期比4.0%減少)、営業利益は7億90百万円(前期比8.6%減少)、経常利益は9億49百万円(前期比0.6%減少)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は6億25百万円(前期比14.8%減少)となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

#### (アパレル事業)

独自性のある高付加価値商品の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力し、既存ショップの売上拡大施策の実施や新たなレディースブランドである「pierre cardin(ピエール・カルダン)」の展開、在庫コントロールの徹底やプロパー販売強化等による収益性改善に努めてまいりました。

しかしながら、消費者の慎重な購買姿勢に加え、季節ごとの気候変動の不安定さやブランド再編の影響もあり、売上高は60億50百万円(前期比5.0%減少)となりました。利益面では、売上総利益率の改善に努めましたものの、減収による影響が大きく、営業損失は41百万円(前年同期は営業利益45百万)となりました。

#### (テキスタイル事業)

企画提案型ビジネススタイルの更なる進化を目指して次世代人材の育成に取り組むと共に、既存主力先の深耕化と次期主力先の開発強化を進め、諸経費の削減にも努めてまいりました。また、引き続き「意匠力・提案力・対応力」をベースに、テキスタイルコンバーターとしての競争力強化に努めてまいりましたが、アパレル各社における慎重な生産数量見直しの影響を受け、売上高は7億68百万円(前期比4.2%減少)、営業利益は32百万円(前期比47.4%減少)となりました。

#### (エステート事業)

東京・京都・大阪の各不動産の賃貸事業につきましては、引き続き所有資産の更なる有効活用に努めました結果、売上高は10億15百万円(前期比3.3%増加)、営業利益は8億8百万円(前期比5.5%増加)となり、安定的にグループ収益に貢献いたしました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、117億30百万円(前期末は128億18百万円)となり、前連結会計年度末に比べ、10億87百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、並びに商品の減少によるものであります。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、150億16百万円(前期末は128億99百万円)となり、前連結会計年度末に比べ、21億16百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物、投資有価証券と無形固定資産の増加によるものであります。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、17億73百万円（前期末は15億39百万円）となり、前連結会計年度末に比べ、2億33百万円増加いたしました。これは主に、未払金及び未払法人税等の増加によるものであります。

## (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、18億50百万円（前期末は17億3百万円）となり、前連結会計年度末に比べ、1億47百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加と退職給付に係る負債の減少によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、231億22百万円（前期末は224億75百万円）となり、前連結会計年度末に比べ、6億47百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ、8億90百万円減少し、当連結会計年度末の残高は98億27百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、15億15百万円増加（前期は8億80百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益及び減価償却費の計上等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、20億49百万円減少（前期は5億75百万円減少）となりました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券の取得等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、3億56百万円減少（前期は3億87百万円減少）となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期 (第75期)	2023年3月期 (第76期)	2024年3月期 (第77期)	2025年3月期 (第78期)	2026年3月期 (第79期)
自己資本比率	86.9	85.7	85.6	87.4	86.5
時価ベースの自己資本比率	39.0	33.3	44.6	46.3	68.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	51.9	31.1	48.1	43.2	25.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	303.0	490.0	292.4	192.5	245.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

①各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

②株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

③キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善を背景に国内景気は緩やかな成長が期待されますものの、物価上昇の継続による生活防衛意識の高まりや海外経済の減速懸念、不安定な国際情勢の影響等もあり、個人消費の先行きは依然として不透明であり、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上等・上質＝プレミアム」にこだわった独自性のある高付加価値商品の追求と高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力してまいります。

アパレル事業におきましては、ブランド価値の再構築に向けたリブランディングと商品力強化、新ブランドの開発、オペレーションの適正化による利益体質の強化に取り組むと共に、SNS・ECを活用したデジタルマーケティング施策により新規顧客の開拓を進めてまいります。テキスタイル事業におきましては、既存事業の深化、新規販路の開拓、デジタル活用による提案力の強化に取り組み、エステート事業におきましては、計画的なメンテナンス、環境負荷低減、物件開発を進めてまいります。

さらに、グループ全体として、在庫コントロールの徹底やプロパー販売強化による収益性の改善、固定費を中心とした諸経費の削減、生産管理機能の強化に努め、継続的かつ安定的に質の高い事業構造の実現を目指してまいります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元の充実が重要な経営課題であることを十分に認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結業績に応じた安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としております。

当社は、安定配当の指標といたしましては、配当性向40%を一つの基準としております。

内部留保につきましては、アパレル事業における商品力・ブランド力の強化、店舗開発、既存ショップの活性化、デジタル施策の強化、生産・在庫管理の高度化や新規事業の検討など、中長期的な収益基盤の強化に向けた取り組みに加え、不動産事業においても、新規物件の取得、保有資産の有効活用および維持・更新を検討してまいります。

なお、当期の期末配当金は、上記方針に基づき、1株につき普通配当18円とさせていただきます。

また、次期の年間配当金につきましては、18円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,718	9,827
受取手形及び売掛金	699	632
電子記録債権	7	2
商品	1,227	1,099
原材料及び貯蔵品	39	50
その他	128	121
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	12,818	11,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,238	2,408
土地	6,480	6,480
建設仮勘定	10	—
その他(純額)	234	230
有形固定資産合計	8,963	9,119
無形固定資産		
	146	300
投資その他の資産		
投資有価証券	3,100	4,665
長期貸付金	1	4
繰延税金資産	7	5
差入保証金	468	421
その他	227	513
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	3,790	5,596
固定資産合計	12,899	15,016
資産合計	25,717	26,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	425	452
有償支給に係る負債	39	50
短期借入金	380	380
未払金	222	292
未払法人税等	109	257
未払消費税等	22	21
賞与引当金	144	131
役員賞与引当金	15	12
その他	180	176
流動負債合計	1,539	1,773
固定負債		
繰延税金負債	464	687
長期末払金	161	157
退職給付に係る負債	78	5
資産除去債務	125	135
長期預り保証金	872	864
固定負債合計	1,703	1,850
負債合計	3,242	3,623
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,137	8,151
利益剰余金	13,915	14,252
自己株式	△3,367	△3,424
株主資本合計	21,031	21,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,400	1,777
退職給付に係る調整累計額	42	19
その他の包括利益累計額合計	1,443	1,796
純資産合計	22,475	23,122
負債純資産合計	25,717	26,746

## (2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	8,157	7,835
売上原価	3,469	3,296
売上総利益	4,687	4,538
販売費及び一般管理費	※1 3,822	※1 3,748
営業利益	864	790
営業外収益		
受取利息	13	42
受取配当金	65	113
有価証券売却益	4	—
仕入割引	7	5
貸倒引当金戻入額	1	0
雑収入	4	8
営業外収益合計	97	170
営業外費用		
支払利息	4	5
雑損失	2	6
営業外費用合計	6	11
経常利益	955	949
特別損失		
固定資産除却損	20	15
特別損失合計	20	15
税金等調整前当期純利益	934	934
法人税、住民税及び事業税	180	273
法人税等調整額	20	35
法人税等合計	201	309
当期純利益	733	625
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	733	625
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	376
退職給付に係る調整額	△2	△23
その他の包括利益合計	102	353
包括利益	836	978
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	836	978
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,346	8,127	13,469	△3,378	20,564
当期変動額					
剰余金の配当			△287		△287
親会社株主に帰属する当期純利益			733		733
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		10		10	21
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	10	446	10	467
当期末残高	2,346	8,137	13,915	△3,367	21,031

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,295	45	1,340	21,905
当期変動額				
剰余金の配当				△287
親会社株主に帰属する当期純利益				733
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				21
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	105	△2	102	102
当期変動額合計	105	△2	102	569
当期末残高	1,400	42	1,443	22,475

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,346	8,137	13,915	△3,367	21,031
当期変動額					
剰余金の配当			△287		△287
親会社株主に帰属する当期純利益			625		625
自己株式の取得				△68	△68
自己株式の処分		14		11	25
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	14	337	△56	294
当期末残高	2,346	8,151	14,252	△3,424	21,326

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,400	42	1,443	22,475
当期変動額				
剰余金の配当				△287
親会社株主に帰属する当期純利益				625
自己株式の取得				△68
自己株式の処分				25
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	376	△23	353	353
当期変動額合計	376	△23	353	647
当期末残高	1,777	19	1,796	23,122

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	934	934
減価償却費	394	414
その他の償却額	3	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	△13
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△34	△107
受取利息及び受取配当金	△79	△155
支払利息	4	5
固定資産売却損益 (△は益)	—	0
固定資産除却損	20	15
売上債権の増減額 (△は増加)	120	73
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△56	117
仕入債務の増減額 (△は減少)	△85	26
その他	△57	187
小計	1,141	1,496
利息及び配当金の受取額	76	151
利息の支払額	△4	△6
法人税等の支払額	△332	△125
営業活動によるキャッシュ・フロー	880	1,515
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△332	△488
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△65	△230
無形固定資産の売却による収入	—	△89
投資有価証券の取得による支出	△203	△987
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	—
貸付けによる支出	—	△4
貸付金の回収による収入	0	0
差入保証金の差入による支出	△21	△3
差入保証金の回収による収入	50	34
保険積立金の積立による支出	—	△380
その他	△2	98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△575	△2,049
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△100	—
自己株式の取得による支出	△0	△68
配当金の支払額	△287	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△387	△356
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△82	△890
現金及び現金同等物の期首残高	10,800	10,718
現金及び現金同等物の期末残高	10,718	9,827

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
販売促進費	762百万円	745百万円
給与手当	1,046 "	1,025 "
賞与引当金繰入額	144 "	131 "
役員賞与引当金繰入額	15 "	12 "
退職給付費用	7 "	8 "
減価償却費	331 "	338 "

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、国内において衣料品等繊維品事業、不動産賃貸事業を行っております。

したがって、当社は、事業の種類別セグメントとして「アパレル事業」と「テキスタイル事業」及び「エステート事業」の3つを報告セグメントとしております。

「アパレル事業」は、アパレル・ファッショングッズの企画・仕入・販売、「テキスタイル事業」は、テキスタイルの企画・仕入・販売を行っております。「エステート事業」は自社所有不動産の有効活用として、主にオフィスビルの賃貸等を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

また、セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

なお、資産及び負債については、事業セグメントに配分しておりません。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	アパレル 事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,371	802	982	8,157	—	8,157
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16	30	—	46	△46	—
計	6,388	832	982	8,203	△46	8,157
セグメント利益	45	60	766	872	△8	864
その他の項目						
減価償却費	330	0	103	434	—	434
減損損失	—	—	—	—	—	—

- (注) 1 セグメント利益の調整額△8百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8百万円が含まれております。  
 なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 資産及び負債については、事業セグメントに配分していないため、記載しておりません。
- 4 資産については事業セグメントに配分しておりませんが、減価償却費については関係する事業セグメントの負担割合等を考慮して配分しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	アパレル 事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,050	768	1,015	7,835	—	7,835
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13	13	—	26	△26	—
計	6,064	781	1,015	7,861	△26	7,835
セグメント利益又は損失 (△)	△41	32	808	799	△8	790
その他の項目						
減価償却費	337	0	103	442	—	442
減損損失	—	—	—	—	—	—

- (注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△8百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8百万円が含まれております。  
 なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失 (△)、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 資産及び負債については、事業セグメントに配分していないため、記載しておりません。
- 4 資産については事業セグメントに配分しておりませんが、減価償却費については関係する事業セグメントの負担割合等を考慮して配分しております。

#### 【関連情報】

- 1 製品及びサービスごとの情報  
 セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。
- 2 地域ごとの情報  
 (1) 売上高  
 本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。
- (2) 有形固定資産  
 本邦以外の有形固定資産がないため、該当事項はありません。
- 3 主要な顧客ごとの情報  
 外部顧客への売上高のうち、連結損益及び包括利益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

#### 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）  
 該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）  
 該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	1,405.08円	1,450.37円
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (百万円)	22,475	23,122
普通株式に係る純資産額(百万円)	22,475	23,122
普通株式の発行済株式数(千株)	24,771	24,771
普通株式の自己株式数(千株)	8,775	8,828
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数(千株)	15,995	15,942

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	45.88円	39.17円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	733	625
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	733	625
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,984	15,956

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

##### 1. 代表者の変動

該当事項はありません。

##### 2. その他の役員の変動

##### (1) 新任補欠監査役候補 (2026年6月26日付予定)

補欠監査役 (社外) 高井 晶治 (現 株式会社ファルコホールディングス社外取締役 常勤監査等委員)

##### (2) 退任予定補欠監査役 (2026年6月26日付予定)

補欠監査役 (社外) 深井 和巳